

人生を変えた1冊



木山 ロリンダ ロバートソン
Lorinda Robertson Kiyama

東京工業大学 准教授

リーダーシップ教育院・リベラルアーツ研究教育院

経歴

- 1992~1993 熊本大学 文部科学省留学
- 1995 コロンビア大学 卒業
- 1998 スタンフォード大学 修士課程卒業 博士後期課程進学
- 1999~2001 名古屋大学大学院 フルブライト留学
- 2001~2003 尚綱大学国文学科専任講師 (日本文学・文芸)
- 2003~2005 国際基督教大学非常勤講師、尚綱大学非常勤講師 (日本文学・文芸)
- 2005 東京工業大学 講師
- 2006 カリフォルニア南大学 心理学修士課程 卒業
- 2009 東京工業大学 准教授
- 2016 アーゴシ大学 カウンセリング心理学博士課程 卒業
- 2018 プロセス指向心理学学院 Certificate Program 卒業

今先生が取り組んでいる研究について教えていただけますか？

元々、日本古典文学を専門としていたのですが、その後臨床心理学の博士号を取得したため、2つの専門を持っています。現在はこの2つの学問が交わる部分に着目した研究を行っていて、例えば互いの特徴が似ている日本伝統芸能の『能』と心理学の『心理劇』について研究を行っています。その他にも比較文学を専門としているため、中世のヨーロッパとの比較についての研究も行っています。

人生を変えた1冊について教えてください。

今回紹介するのは『Dreams Are Wiser Than Men』という本で、私が心理学を学びきっかけを作ってくれました。この本には和訳本がないため、学生さんが読むのは少しハードかもしれません。私がスタンフォード大学で日本文学を勉強していた頃、当時私のカウンセラーをしていていた臨床心理士の先生がこの本をプレゼントしてくれました。この本には様々な分野の専門家達がみた夢の話や、こんな夢を見たことによって人生の選択を決心したという体験談が描かれています。私自身も夢をよくみるタイプの人間で、夢の中に人生の生き方についてのヒントが含まれていると思っています。

Dreams Are Wiser Than Men

Edited by
Richard Anthony Russo
Published by
North Atlantic Books



東工大生に向けてのメッセージ

最近、スマートフォンを使用している人が多いですね。スマホのおかげで、世の中の出来事などの情報がすぐに手に入り、とても便利だと思います。ですが、たまには電源を切る時間を作り、本を読む幸せを感じてください。本には、人に合わせることなく自分のペースで読んで味わえる、そんな魅力があります。深く考えたいことが出てきた時には本を置いて、自分のペースで思考し、また読み出す。何かの言葉に心が動いて、それを味わうという体験をしてほしいと思います。これはネットで調べても得られませんよね。IT企業勤めの人で、携帯を見ない日を決めて自分のやりたいことだけをやる人もいます。自分の時間と空間を守るのも大事ですよ。



学生さんに勧めたい本はありますか？

東工大の学生さんには『Why We Sleep: The New Science of Sleep and Dreams』という本をぜひ読んでいただきたいです。この本は和訳本も出版されているため、かなり読みやすいものだと思います。先ほど紹介した本にもありますが、夢をみることは大切で、夢は成功するために必要なことです。さらにその夢をみるためにはよく寝ることが大切です。学生の皆さんもこの本を読んで、上質な睡眠をとっていただきたいです。『プロセス指向のドリームワーク 夢分析を超えて』という本もあります。あなたが夢を見たとき、そこに出てくるものは、全部あなたの脳

からできたものなのです。例えば、怪獣から逃げる夢をみたします。そんなとき、夢を演劇的に再現してみましょう。怪獣の立場に立って、何かを追いかけてみるのです。すると、自分にとって何か必要とされているものが見つかるかもしれません。一見早く忘れたい夢こそ、好奇心を持って探っていく方が、自分のためになるメッセージを見つけられるかもしれません。夢は、そんな不思議な世界です。

東工大は理系の学生が多いですが、分野の違う本を読む必要があると思いますか？

修士課程に進むと、ものすごく専門的になってきますよね。でも、その知識しかないような人間はそのうち

パンクしてしまいます。専門知識だけ極めなくても、色々なことに手を出して生きればいいのか。最近気に入っている『RANGE』という本は、絶対に学生に紹介したいと思っていました。例えば、ある科学者は月～金曜日に仕事をするけど、土曜日はラボで自由に遊んでいました。これとこれを混ぜたらどうなるのだろう。結局そのラボでの遊びが新しい発見に繋がっていくのです。他にも、NASAが解決できなかった問題を、宇宙とは関係ない陶芸分野の人が解いてしまうといった話もあります。自分の分野を捨てなくても、クリエイティブの時間を取り入れたら、違う分野の考えを取り入れるのは魅力的ですよ。